

# 一般質問に登壇

9月6日開会した定例県議会で、私は一般質問に登壇し、貧困対策や虐待防止対策、美しい宮崎づくりなどの課題について質問しました。

また、障害者雇用率問題など頻発する不祥事、不適切な事務処理について知事の姿勢を質しました。



## 子どもの虐待死を防ぐ体制強化を

### 宮崎市に児童相談所設置を働きかけて

今年三月、東京・目黒区で発生した5歳の女児虐待死事件は、「ゆるして」など鉛筆書きのメモがあったことから社会の注目を集めました。

この事件を受け、政府は児童虐待防止にかかる緊急対策をまとめましたが、その中に「中核市における児童相談所（以下「児相」）の設置支援促進」という一項がありました。

中核市である宮崎市は、自ら児相を設置することができませんが、財源と人材確保が難しいことを根拠に設置していません。

昨年度、宮崎県内の三つの児相で対応した相談件数は4,063件で、うち1,332件は宮崎市の相談とのこと。全体の33%になります。また、虐待件数は1,136件で、宮崎市の分は479件とその42%を占めます。

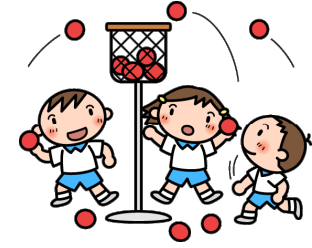
私は住民により身近な存在である宮崎市が児相を設置する意義は大きいと考え、その対応について質問しました。

「子どもに優しい社会を」

# 岩切たつや

県議会 便り

2018年10月 発行  
 岩切たつや 県議  
 住所 宮崎市生目台東1丁目6-8  
 電話 0985-89-5158  
 fax 0985-86-8778



### 宮崎市の子どものを守ろう

福祉保健部長に対し、宮崎市に児相設置を働きかけてはどうかと質問したところ、部長から「宮崎市が児相設置することにより、子育て支援から一貫した児童福祉施策の実施が可能となる。宮崎市と協議してまいりたい。」と前向きな答弁を引き出しました。

市では、すでに妊産婦の支援から乳幼児検診、保育所利用など就学前支援と子育て支援がなされて

## 障がい者の就労機会確保につながる対応を

国の機関で、障害者雇用率が意図的なもの、意図せぬものを含めて不適切な算定がなされていたことを受け、宮崎県でも調査が行われました。結果、法定雇用率は満たしていませんが、厚労省の示すガイドラインに適合しない判断があったことが分かりました。

ガイドラインには、障害者手帳の確認が求められていますが、職員が「持っている」と申し出ればカウントしていたとか、過去に所持していると把握していた職員について、その後状態の変化で、手帳を所持しなくなっていたものをそのまま数えていたというものです。

また、医師の診断書による確認という方法もあるのですが、医師からの意見を踏まえて算入したが、診断書そのものを確認していなかったという

おり、そこに、虐待防止対策として児相機能が加われば、一時保護や施設利用なども含めて一貫して対応できることとなります。

災害が続いています。いつ・どこで起きるか分らない災害。皆様、備えは万全ですか？

二〇〇六年の児童福祉法改正で中核市が児相設置できるとされ、すでに設置している中核市も有ります。宮崎市では、児相を設置することに「財源と人材がない」との質問に「財源と人材がない」と答えたにとどまっています。しかし、中核市なら財政も人材も大丈夫と認められているからこそ「設置できる」と十分な力があると考えます。

社会民主党県議会議員

## 岩切たつやプロフィール

昭和36年1月 延岡市生まれ  
昭和54年4月 県庁入庁  
児童相談所、福祉事務所等に勤務  
労組委員長、PTA会長  
など労働運動、地域活動  
に取り組む。  
現在 一期目、雇用人材育成確保特別委員会委員長  
妻と子ども  
資格 社会福祉士、宮崎県登録保育士



手続上の課題がありました。障害者雇用促進法は、障害を持つ方の雇用機会を確保し促進すること・就職以後に病気やケガで障害を持つ状態になった方も職場から排除されないこと・差別的処遇をしないこと・持ちうる能力が発揮されるよう配慮されることを求めています。私はこの問題に関連して、雇用率問題で取りざたされた数字の問題もさることながら、法の目的を忘れず、不利益取り扱いの禁止、合理的配慮の提供など、しっかりとした雇用対応を求めました。また、「手帳の所持をしない」という意思を持つ方など個人の意向を尊重して」と求めました。障害者手帳は本人が所持を希望して初めて交付されるものです。雇用主の都合で所持を求めることにはいけないと注意喚起しました。

質問概要

社会として貧困対策を！  
孤立を防いで、くらしの豊かさ日本一の宮崎を

質問者席からの風景



うち一施設は県立で社会福祉法人が運営しています。県は設置に向けて責任を持って対応すべきと考えます。今回わすかながらに前進ある回答をいただきました。実を結ぶよう頑張りたいと思います。

★質問★

虐待相談中、身体的虐待は239件と昨年より1.5倍。こどもを叩かない子育てを普及するため「愛の鞭ゼロ作戦」を十一月の児童虐待防止月間で取り組んでほしい。



★答弁(福祉保健部長)

体罰は子ども脳の発達に深刻な影響を及ぼすおそれがある。厚労省が提唱している「愛の鞭ゼロ作戦」は虐待防止月間で啓発し虐待の未然防止を図りたい。

■私の意見

虐待の連鎖を断ち切って、虐待そのものをなくして行きたいと願います。しつけを言い訳にした体罰をなくし、別の方法があることを広めたいものです。息の長い取り組みが大変ですが、スタートしない限り実現は難しいことです。

★質問★

非正規などの就労環境や、年金加入状況など、将来には一人世帯でなおかつ貧困状態という方が増加すると予想される数字ばかり。生活保護実施について部長はどのような姿勢でいるか。

■私の意見

2月議会に続いての質問です。私は8月に仙台市の母子生活支援施設を視察しました。仙台市と宮崎県はほぼ同じ人口で、仙台市には三施設あります。

★答弁(福祉保健部長)

福祉事務所が受給者一人一人に寄り添い、抱える課題解決を図られるようきめ細やかな支援を行っている。職員充足や支援のあり方を指導している。

★質問★

子ども食堂に食品を提供する企業がある。農産物を取り扱うJAに支援いただけないか。

★答弁(福祉保健部長)

みやざき子ども未来ネットワークが企業とのマッチングに取り組む、食糧支援など実現している。JAからも支援いただいている地域があり、全県化することを期待している。

★質問★

こども療育センターは建設から三〇年。役割の変化、機能の充実強化が必要。あり方について検討が必要な時期が来たのでは。



★答弁(福祉保健部長)

障がいの重度化、重複化、在宅指向に対応してきたが、常勤小児科医不在や、施設設備の老朽化など課題も顕在化している。センター長を含めた部内の検討会を立ち上げ、求められる機能を整理し、役割を果たすための必要な体制や施設のあり方について検討を始めた。

■私の意見

利用児童、家族の願いに光明をもたらす前向きな答弁でした。これらが大事になります。

〈9月議会の議案〉

- ◆一般会計補正予算(71億6370万円余)案 1議案
- ◆宮崎県税条例の一部を改正する条例ほか4条例の改正
- ◆公安委員会委員の任命同意等13議案
- ◆平成29年度一般会計決算議案、特別会計決算議案等
- ◆「米軍基地負担に関する提言」の推進を求める意見書、学校施設への冷房等空調設備の設置促進を求める意見書等5本の意見書を採択

〈日常活動スナップ〉



さんさんクラブ大会↑

第19回 宮崎地区労組会議 定期大会

←地区労定期大会



美郷町林業技術センターにて↑



市役所前  
街頭宣伝活動

★質問★

県行政で発生した不適切な事務処理や不祥事について、限られた人員になってきた中で組織的対応に課題があったのではな

いか。職員が相互に支援する体制整備が必要ではないか。

★答弁(知事)

職員が課題を一人で抱え込まないよう、相互の支援について組織としてのあり方を見直す必要があると考える。

★質問★

職員のメンタルヘルスは重要。不調をきたす原因について検証と改善が必要ではないか。

★答弁(総務部長)

ストレス要因の検証に努めて

いる。これまでの対策の効果を分析し、充実を図りたい。

■私の意見

職場内の対人関係を含め検証し、繰り返しならないことを目指して支え合える職場を作る必要があります。

★質問★

豚コレラ発生など家畜保健所行政は重要。獣医師一人あたり家畜頭数は日本一多い。県内三力所体制でいいのか見解を。

★答弁(農政水産部長)

県内約五千農場を対象に巡回指導している。獣医師確保にま

